審議結果（令和 7 年度第 1 回）

審議会名称

神奈川県文化財保護審議会

開催日時

令和 7 年 7 月 25 日（金）

開催場所

神奈川県庁東庁舎 9 階教育委員会会議室（オンライン併用）

出席者【会長・副会長等】

浅見 龍介委員【会長】、森谷 美保委員、藤井 雅子委員、藤井 恵介委員、内田 青蔵委員、山崎 祐子委員、中島 圭一委員、長崎 潤一委員、寺前 直人委員、青木 敬委員、河潟 俊吾委員、倉田 薫子委員（12 名）

次回開催予定日

令和 7 年 11 月頃

所属名、担当者名

教育局生涯学習部文化遺産課、齋藤

掲載形式

議事録（一部は議事概要）

議事概要とした理由

審議検討過程に関するものであるため

審議経過

（事務局）

時間になりましたので、ただいまより、令和 7 年度第 1 回神奈川県文化財保護審議会を開催いたします。なお、本日の審議会につきましては、対面の会議形式と web 会議形式の併用で開催させていただいています。ここからの議事の進行は浅見会長にお願いいたします。

（浅見会長）

それでは、議事に入らせていただきます。

はじめに、会議の公開に関する本日の対応について確認いたします。

本日の議事につきましては、部会報告の後、協議事項が1件、報告事項が3件予定されています。これらのうち、「県指定重要文化財の現状変更について」は、内部的な未成熟事項であることから非公開としたいと考えております。

それ以外の報告事項については、公開とし、公開の方法は傍聴としますが、このことについて、御異議等がございますでしょうか。

(全委員) <異議なし>

(浅見会長)

御異議がないようでしたら、そのように進めさせていただきます。本日の傍聴者はおりますか。

(事務局)

傍聴者はありません。

(浅見会長)

傍聴者はいないとのことなので、このまま進めさせていただきます。

<議事概要箇所>

○部会報告について

各部会（第2部会除く）での協議内容等が報告された。

○協議事項 県指定重要文化財の現状変更について

県指定重要文化財の現状変更について、事務局及び県教育委員会生涯学習課より報告がされ、協議した結果、承認された。

(浅見会長)

続いて報告事項に入ります。

報告事項ア「県指定重要文化財の指定について」事務局から報告をお願いします。

(事務局)

それでは、調整・世界遺産登録推進グループの羽入より、報告事項ア「県指定重要文化財の指定について」御報告いたします。

報告資料1を御覧ください。

令和7年3月18日付け神奈川県教育委員会告示第1号にて、神奈川県指定重要文化財として新規に1件が指定されました。種別は彫刻、名称は「木造阿弥陀如来立像」、数量は1軀、所有者及び所在地は平塚市にあります宗教法人善福寺です。

本件は、昨年度第2回文化財保護審議会にて指定の諮問をさせていただき、第3回にて審議会から教育委員会へ指定の答申をいただいたものです。その後、無事指定となりましたことを御報告いたします。皆様には改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

報告事項アの説明は以上となります。

(浅見会長)

この件について、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いします。

特にないようでしたら、次に、報告事項イ「国指定文化財の指定等について」事務局から報告をお願いします。

(事務局)

文化遺産課萩原から御報告いたします。報告資料2を御覧ください。

国の文化審議会会長 島谷弘幸は、令和6年12月20日金曜日に開催された、同審議会文化財分科会の審議を経て、国史跡「下寺尾官衙遺跡群」「下寺尾西方遺跡」について、指定地の範囲を追加するよう、文部科学大臣に対して答申いたしました。なおこちらにつきましては、前回の令和6年度第3回審議会において報告をさせていただいております。

その後、令和7年3月10日付け官報によって、国史跡「下寺尾官衙遺跡群」「下寺尾西方遺跡」について指定地の範囲を追加する旨の告示がされました。

また、令和7年6月20日金曜日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経まして、国史跡「小田原城跡」について、指定地の範囲を追加するよう、文部科学大臣に対して答申をいたしました。

なお現在、本県の国指定「史跡名勝天然記念物」は累計で73件、史跡60件、史跡及び天然記念物1件、名勝4件、名勝及び史跡2件、天然記念物6件となります。いずれの史跡も追加指定となりますので件数の変更はございません。「下寺尾官衙遺跡群」「下寺尾西方遺跡」につきましては、前回の審議会で報告させていただいておりますので今回、説明は割愛させていただきます。

3ページを御覧ください。令和7年6月20日に答申されました、「小田原城跡」についてです。写真・位置図については、3ページの下部、4ページに添付しております。

所在地は小田原市城内900番1他591筆が既指定地となります。追加指定地は小田原市谷津字山神259番15外14筆、計15筆が追加指定地となります。

指定面積は、309,567.17㎡。うち今回追加分が4,456.49㎡となります。

概要について、戦国時代、小田原北条氏が関東支配の中心拠点として整備・拡張した城跡です。小田原北条氏滅亡後、大久保氏他譜代大名が城主となり、関東地方の西の入口の防御の要として、江戸時代を通じて重視されました。

今回、総構の土塁と堀にあたり、既指定地に隣接する6地点7ヶ所15筆を追加指定します。地点名は次の通りです。下の位置図と写真を御参照ください。

まず総構山ノ神堀切東の2ヶ所、下の位置図の最も北側にする場所でございます。写真は、1番、2番となります。

次に総構山ノ神堀切西が3番の写真。次の総構小峯御鐘ノ台北東、これは総構の西側に位置する写真4番になります。次に総構小峯御鐘ノ台南西は写真5番になります。その次に新堀になりますが、総構の南側に位置しており、写真6、7になります。

国指定史跡の追加指定につきましては以上です。

引き続き調整・世界遺産登録推進グループの羽入より、国登録有形文化財の新規登録について御説明いたします。

報告資料2 5ページの項番2から御覧ください。

令和7年3月以降、国登録有形文化財に係る告示が1件、答申が2回行われております。まず、令和7年3月13日付け官報において、文部科学省は「茅ヶ崎館浴室棟」の登録を抹消した旨の告示を行いました。

次に、国の文化審議会は、令和7年3月21日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、「旧松野家住宅主屋」ほか4件を、令和7年7月18日に同じ審議・議決を経て、「観山亭主屋」ほか1件を登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に対して答申しました。これらが答申のとおり告示されると、本県の国登録有形文化財（建造物）は累計で345件となる見込みです。

まず、3月13日付けで登録抹消となった「茅ヶ崎館浴室棟」ですが、これは茅ヶ崎市海岸に所在する老舗旅館「茅ヶ崎館」の1棟で、広間棟、中二階棟、浴室棟と合わせて平成21年に登録されました。このうち、令和6年3月に「長屋棟」が登録抹消となり、今回、新たに浴室棟が解体され、登録抹消となりました。なお、残っている広間棟及び中二階棟につきましては、今のところ解体の予定はなく、今後も営業を続けるとのことです。

続きまして、令和7年3月21日に答申となった5件について、資料を元に簡単に御説明させていただきます。

横浜市磯子区滝頭に所在する「旧松野家住宅主屋」、「表門及び塀」です。写真は6ページ目に掲載しております。

所有者、建築年代、特徴等については記載のとおりです。主屋は横浜市臨海部の地主の住宅で、床柱や棚などの地板にケヤキ、床框に紫檀（ローズウッド）などの銘木が使用されており、こうした良材を用いた近代和風住宅である点などが評価されました。

表門及び塀は、主屋とほぼ同時（2年後）に建設されております。棧瓦葺屋根を腕木で支える腕木門の形式で、格式ある屋敷構えを構成し、歴史的景観を整えるものとして評価されました。

続きまして、6ページ目の中段からですが、横須賀市東浦賀に所在する「幸保家住宅店舗兼主屋」、「石蔵」です。

所有者、建築年代、特徴等については記載のとおりです。店舗兼主屋は関東大震災後に新築され、典型的な町家の構成で、港町の風情を伝える貴重な町家として評価されました。

また、石蔵は、昨年度に登録された同市西浦賀の穴沢家座敷蔵と同様に、石積みの内部に木造軸を組まれた木骨石造の構造となっています。こちらも店舗兼主屋と一連で、浦賀の歴史的景観を伝えるものとして評価されました。

続きまして、7ページ目の二宮町二宮に所在する「旧山川家住宅主屋」です。

所有者、建築年代、特徴等については記載のとおりです。日本画家山川秀峰の別宅として建築され、その息子で作家の山川方夫も居住したとされています。山川秀峰と旧知の中であった吉田五十八の設計で、近代数寄屋を得意とする吉田五十八の住宅作品の中では民家風の趣味を取り入れた貴重な事例として評価されました。

最後に、令和7年7月18日に答申となった2件について御説明します。8ページを御覧ください。

箱根町強羅の国指定名勝「神仙郷」内に所在する「観山亭主屋」と「湯殿」です。

所有者、建築年代、特徴等については記載のとおりです。主屋は神仙郷の創始者である岡田茂吉の住居で、昭和25年の増築部である寝室と書斎は、先ほどの旧山川家住宅と同様、近代数寄屋の名手である吉田五十八の設計とされています。4枚ある写真右側のようにガラス窓を三面で大きく取るなど、吉田作品の特徴が見られます。なお、写真でも御覧いただけますように、室内から箱根の山々が一望できることから「観山亭」の名がつけられたとされています。

もう1件の登録である湯殿は主屋と独立し、主屋の廊下から出て中に入る設計です。こちらも設計者は吉田五十八で、吉田の秀作の一つとして評価されました。

神仙郷の中には他にも国登録有形文化財が6件あり、今回の観山亭関係の2件が登録されると、計8件の登録有形文化財を有することとなります。

説明は以上となります。

(浅見会長)

この件について、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いします。

特にないようでしたら、次に、報告事項ウ「県指定文化財の現状変更等許可の状況について」事務局から報告をお願いします。

(事務局)

再度、萩原より御報告させていただきます。報告資料3を御覧ください。

項番1史跡「河村城跡」となります。対象地は足柄上郡山北町山北字城山2161番外。所有者は山北町で申請者は個人の方です。こちら昨年度も報告させていただいたものと同様の内容でテント及びタープの設置となります。

許可日は令和7年3月19日。予定期間は4月26日から4月27日の2日間に渡ります。マルシェ（フリーマーケット）の開催に伴い、テント及びタープの設置のため金属杭の打設を行います。ペグの長さは15cmで地表面からの保護層は50cm確保しているため、遺構面まで35cmの保護層を確保しており、地下遺構への影響は軽微なものと判断しております。また、イベント実施に伴い、2日間設置されるもので事業の実施後には撤去されることから、一時的なものであり、景観への影響は軽微であると判断しております。なお、許可条件として施工にあたっては山北町教育委員会の職員の立ち会いを求めています。

次に項番2、こちらも史跡「河村城跡」になります。

対象地、所有者は項番1と同じで、申請者は山北町長となります。

現状変更の内容といたしましては、樹木伐採、園路工事、土橋整備工事、土橋へのメッセージ記入事業となります。

許可日は令和7年6月26日。予定期間は令和7年10月31日までとなっております。

別紙の2ページを御覧ください。それぞれ御説明させていただきます。

まず、①の樹木伐採になります。こちら場所は資料別紙の施工場所①になります。こちら

は大庭郭及び多地屋敷周辺の計 120 m²において立ち枯れしている樹木の伐採を行うものです。なお、伐根を行わないため地下遺構への影響はございません。景観の変化を伴いますが、史跡本来の景観に寄せた整備であり、また倒木の危険なども踏まえ、安全管理上必要なことであると考えます。

次に園路の目地埋め工事です。別紙 2 ページの施工場所②を御覧ください。写真では一番左の②の写真が該当箇所となります。この赤枠で囲っている部分が、石敷きの園路となりますが、目地の隙間につまづいて転倒する方が多発していることから、ここを土系舗装（エコクリーンソイル）で目地埋め工事を行います。既に整備済みの園路の施工であり、発掘調査時は除去できる素材を用いているため、地下遺構への影響はありません。景観の変化を伴いますが、安全管理上やむを得ないものと考えられます。

次に土橋壁面整備工事です。こちら施工場所は 3 番になります。写真としては下の真ん中の写真になります。蔵郭と近藤郭の間に位置する土橋北側壁面において、発掘調査で確認された予想断面写真を陶板タイルにて設置します。施工に際して、足場を設置するため掘削・足場打設が生じますが、保護層内に掘削が収まるため地下遺構への影響はありません。景観は変化を伴いますが、史跡の理解を高めるための整備であり、保存活用していく上で必要な行為であると考えます。横幅 15m、縦約 7m の規模で陶板タイルが設置されます。

なお、こちらは県費補助事業で実施します。例年 9 月に「河村城まつり」が開催されますが、そのお祭りで除幕式を行う予定です。

次に土橋壁面メッセージ事業です。2 ページの 4 番が該当箇所になります。こちらは今しがた申しあげました、土橋壁面整備工事に伴い、陶板の設置前に町民の方々からのメッセージ等を記載するものです。記入後には、その上に陶板タイルを設置してしまうため、景観への影響はございません。

次に項番が飛んで 8 番、天然記念物「勝福寺と八幡神社境内の樹叢」についてです。こちら対象地は小田原市飯泉 1161 番地で、所有者・申請者は勝福寺です。

樹木の高所剪定を行うもので、許可日は令和 7 年 6 月 6 日から許可をし、予定期間は令和 8 年 3 月 30 日までとなっています。サギによる糞害被害対策のため樹木の枝打ちを行うものです。安全管理上やむを得ないものとし許可をいたしました。なお、許可条件として、小田原市教育委員会職員の立ち会いを求めています。

変わりました、谷口の方から 2 ページ目の 3 番から 7 番までの現状変更許可の状況を御報告いたします。まず 3 番の史跡名勝「江ノ島」でございます。パワーポイント資料 4 枚目の③を御覧ください。

案内看板の設置でございます。この埋め立てた一番東側の先端近くに建てるものです。埋立地につき、埋蔵文化財への影響はございません。案内看板自体も至極全うなものであり、景観への影響は軽微なものであると判断し、記載の条件をつけて許可いたしました。施工者は神奈川県藤沢土木事務所でございます。

4 番目、天然記念物「五霊神社の大イチョウとその周辺の樹木」でございます。これは逗子市沼間三丁目にあり、所有者、申請者はともに五霊神社です。

これは、社寺林のケヤキの一部の細い枝が落ちてしまう恐れがあるということで、安全確

保のため事前の剪定が必要と判断したため、記載の条件をつけて許可したものでございます。

5番目、天然記念物「白髭神社の社叢林」でございます。パワーポイント資料6枚目の⑤を御覧ください。場所は横須賀市野比二丁目26番1号で所有者、申請者は白髭神社になります。こちらでも社叢林でございますが、空洞が生じているイチョウと発育不全のイヌマキが倒木の恐れがあり、それぞれ伐採と樹幹の剪定が必要と判断されました。これは4番も同じですが、事前に樹木医さんに診ていただいてこのような判断に至りました。このイチョウとイヌマキは、社殿の前方に位置し、参拝者の方に影響がある一方、社殿裏の本体のスタジイに与える影響は少ないということで、記載の条件をもって許可した次第でございます。

6番目、天然記念物「海老名の大櫨」でございます。こちらは以前の審議会でも何度か御報告させていただいておりますが、状態が厳しいものとなってきております。海老名市国分南一丁目にあり、所有者、申請者は海老名市となります。

バランスが不安定となっており、そういったところを支えるため支柱を設置するとともに、既に設置されている建仁寺垣の補修を行うということで、必要な処置として記載の条件をつけて許可したものでございます。

7番目、天然記念物「浄見寺の寺林」。これは茅ヶ崎市の内陸部、台地の方で茅ヶ崎市堤にあります。所有者、申請者はともに宗教法人浄見寺となります。

寺林内の樹木の成長が非常に著しく、バランスが悪くなっており枝折れ等の恐れがあります。高木のちょうど真下にお墓があり、お墓の参拝者の方にも危険が及ぶということで、必要な部分の剪定について、記載の条件をつけて許可したものでございます。

報告は以上となります。

(浅見会長)

この件につきまして委員の皆様から御質問・御意見等がありましたらお願いします。

(藤井恵介委員)

藤井ですけれどもよろしいでしょうか。ただ今、御報告のあった、3番目の江の島に置かれた案内板なのですが、これは資料で拝見したところ、茶色い土の上に白い板が2枚立っていて黒字で書かれているわけですが、これを「景観に馴染む」と言って大丈夫なのでしょうか。下が土なので、その上に真っ白の看板が立っていると目立つような気がします。

(事務局)

実際、下の地面はもう少し白っぽかったと思います。

(藤井恵介委員)

パワーポイントの資料を見ていると茶色の上に白い棒が2本立っているように見えるので、遠景で写真を撮るとそういったものが明らかに目立つのではないかなど。別にあまり破壊的ではないので大した問題ではないのかもしれませんが、割と簡単にそれを馴染むと言っていかどうか。やはり毎回チェックしないといけないと思います。白黒写真だったらほとんど問題にならないのだけれど、やはり今はカラー写真の時代なので、色の問題は慎重にしてい

ただければと思います。やっぱり史跡の場所に不思議な色が入るといのは色々なところで起こっているのです。これはあくまで意見ですがお願いします。

(事務局)

ありがとうございます。似たような案件が今後出てきた場合は、事業者と調整できるところは調整し、チェック等を行います。

(浅見会長)

他にありますでしょうか。なければ報告事項は終了といたします。

以上で予定していた議題については、終了いたしました。次に「3 その他」ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

委員の皆様からは特にないようですが、事務局から何かありますでしょうか。

(事務局)

次回の日程をお決めいただければと思います。

(浅見会長)

事務局に案はありますでしょうか。

(事務局)

時期は11月中、会場はまた横浜市内で開催させていただくというところでしょうか。

(浅見会長)

事務局から11月中に横浜市内で実施という提案がありましたかよろしいでしょうか。

それでは11月中に実施する方向で事務局に調整いただきます。

(事務局)

後日事務局より日程調整の御連絡をいたしますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは、令和7年度第1回神奈川県文化財保護審議会はこれもちまして閉会いたします。皆様、お忙しい中御参加いただきありがとうございました。